

# オンデマンド研修配信システム 機能要件書

## 1 システム概要

### (1) 目的

本要件書は、大分県社会福祉介護研修センター（以下「研修センター」という。）において、県内の各福祉・介護施設等において柔軟に活用可能なオンデマンド研修環境を整備し、法定研修を中心とした基礎知識を確実に習得できる環境を提供することを目的とする。

また、研修センターホームページとの連携を強化し、オンデマンド研修を入口として研修体系全体の連続性を高め、職員の理解深化およびキャリア形成支援、ならびに県内福祉・介護分野の DX・ICT 活用の推進基盤構築を図る。

※本事業は「福祉・介護現場職員に対するオンデマンド型研修配信システム活用推進事業」として、令和 8 年度から令和 12 年度にかけて実施されるものである。

### (2) 利用対象者

研修センター管理者（システム管理者）

福祉・介護施設管理者（所属施設責任者等）

福祉・介護施設職員（受講者・一般ユーザー）

## 2 機能要件

### 2-1 動画配信機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	動画アップロード・管理	動画ファイル（MP4 等）の登録（タイトル・説明・サムネイル・カテゴリ管理）、更新、削除が直感的に行えること。
②	必須要件	ストリーミング配信	主要 Web ブラウザおよび iOS/Android アプリを介し、パソコン、タブレット、スマートフォンで安定して視聴できること。
③	必須要件	公開期間・対象設定	動画ごとに対象者（所属施設別の権限、グループ等）および公開開始日時・公開終了日時を設定できること。
④	提案要件	CDN 活用	高負荷時（同時視聴 200 人想定）でも、動画配信の高速化・安定化を実現するコンテンツ配信ネットワーク（CDN）を最適に活用すること（評価加点対象）。

## 2 機能要件

### 2-1 動画配信機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	動画アップロード・管理	動画ファイル（MP4等）の登録（タイトル・説明・サムネイル・カテゴリ管理）、更新、削除が行えること。
②	必須要件	ストリーミング配信	主要WebブラウザおよびiOS/Androidアプリを介し、パソコン、タブレット、スマートフォンで安定して視聴できること。
③	必須要件	公開期間・対象設定	動画ごとに対象者（所属施設別の権限、グループ等）および公開開始日時・公開終了日時を設定できること。
④	提案要件	CDN活用	高負荷時（同時視聴200人想定）でも、動画配信の高速化・安定化を実現するコンテンツ配信ネットワーク（CDN）を最適に活用すること。

### 2-2 受講管理・ログ取得機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	利用者別履歴管理	利用者（受講者）ごとの詳細な視聴ログ（視聴開始・完了、個別の学習履歴）を取得・管理できること。
②	必須要件	視聴時間・進捗管理	総視聴時間、進捗率、および動画ごとの「視聴完了判定」が自動で行われること。
③	必須要件	受講状況管理	運用管理者が、組織に所属する職員の受講履歴・進捗状況・集計結果をリアルタイムに一元確認できること。
④	提案要件	ダッシュボード表示	管理者および利用者のトップ画面において、受講ステータス（未受講・受講中・完了）や学習進捗をグラフ等で表示すること。

### 2-3 理解度確認機能（ミニテスト機能）

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	設問作成・紐付け	配信動画ごとに確認テスト（ミニテスト）を設定・管理できること。選択式をはじめとする設問作成に対応すること。
②	必須要件	自動採点・合否判定	受講者の解答に対する自動採点機能を有し、設定した基準に基づく合否判定が行われること。
③	必須要件	結果保存・自動集計	テスト結果（点数、合否履歴）を受講者・施設・動画別に自動集計・保存し、管理画面から確認できること。
④	提案要件	運用の柔軟性向上	問題バンク機能（過去問題の蓄積）、設問のランダム出題、不合格時の再受験制限設定など、テストの信頼性や運用性を高める機能であること。

## 2-4 アンケート機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	受講後アンケート設定	動画視聴完了後、自動的にアンケート画面へ遷移、または回答を必須とする設定ができること。
②	必須要件	多彩な設問形式	選択式（単一・複数）に加え、詳細なフィードバックを収集するための自由記述形式に対応すること。
③	必須要件	集計・エクスポート	回答結果の自動集計を行い、外部分析が可能な形式（CSV、Office形式等）でエクスポート・データ出力できること。

## 2-5 利用者認証・アクセス制御機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	ID/PW アカウント管理	利用者（研修センター管理者、施設管理者、一般職員）の登録、編集、削除、およびパスワードの安全な暗号化管理ができること。
②	必須要件	権限管理	階層的なアクセス権限管理を行い、他施設のデータ閲覧を防ぐ強固なセキュリティ制御を行うこと。
③	必須要件	CSV 一括インポート	大規模な利用者数の増減に耐えるよう、CSV等のファイルによるアカウントの一括登録・更新・削除に対応すること。
④	必須要件	ホームページ連携（認証）	研修センター公式ホームページからのログイン導線を整備し、SAMLやOAuth等の技術を用いた外部認証連携、またはスムーズなリンク遷移を実現すること。

## 2-6 研修案内通知（メール配信）機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	グループ・対象者指定	全体通知のほか、特定の所属施設、受講グループ、特定の研修対象者のみを条件指定してメールを送信できること。
②	必須要件	テンプレート・履歴管理	通知メールのテンプレート作成・管理、および過去の配信履歴を適切に管理・確認できること。

## 2-7 データ出力（レポート）機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	必須要件	履歴・結果一括出力	各種実績データ（受講履歴、テスト結果、アンケート回答）を、任意条件でCSV出力できること。
②	必須要件	帳票出力	受講実績等の帳票・レポート出力できること。

## 2-8 問合せ・Q&A 機能

項番	要件区分	機能名	詳細要件仕様
①	提案要件	コメント・Q&A 機能	利用者が動画視聴画面等から質問やコメントを投稿でき、それに対して研修センター管理者がシステム画面上で返信・対応できる機能（評価加点対象）。
②	提案要件	FAQ（よくある質問）	利用者向けポータル等に、システム操作や手続きに関する FAQ を掲示・検索できる機能。

## 3 非機能要件

### 3-1 セキュリティ・セキュリティ監査

通信・ストレージ暗号化	全画面 HTTPS (SSL/TLS) 通信を必須とし、クラウドストレージは暗号化を施すこと。
アクセスログ	詳細なシステムアクセスログおよび操作ログを厳重に管理・保存すること。
セキュリティ監査の実施	年2回の脆弱性診断、ログ・アクセス権限の確認を含むセキュリティ監査を実施し、結果レポートおよび改善計画を提出すること。
インシデント対応	検知・一次対応から、影響範囲の確認、研修センターへの即時報告（状況および対応予定時間の報告）、応急処置・恒久対策、再発防止策の策定にいたる強固なインシデント発生時フローを確立すること。

### 3-2 可用性・インフラ環境

システム稼働率	年間を通じて 99%以上 の高可用性を維持すること。
レンタルサーバー活用	研修センター既存のレンタルサーバーを活用した構成にすること。
障害復旧	サーバー障害発生時の自動切替（フェイルオーバー）および定期的な自動バックアップ体制を有すること。

### 3-3 拡張性・環境変化への柔軟性

スケール対応	同時視聴者数 200 人から将来的な配信規模の拡大、動画コンテンツの増加に柔軟に追従できる CPU、メモリ、スケーリング条件を備えること。
環境変化への追従	各種 OS (Windows, macOS, iOS, Android) や主要 Web ブラウザのアップデート・仕様変更に対し、継続的にシステムを追従・サポートする明確な方針を持つこと。

### 3-4 動画配信に係るサポート

動画の編集等	分割編集、字幕作成、チャプター設定等
--------	--------------------

#### 4 保守運用・サポート体制要件

夜間・緊急時窓口	メールによる夜間・緊急時対応をすること。火曜日～金曜日の17:15 ～ 21:00 の時間帯は、緊急対応（電話等）を実施すること。
エスカレーション体制	1次窓口から技術担当、開発部門へのシームレスな連携フローを確立し、迅速に障害対応にあたること。
定期レポート・提案	月次の障害レポート提出に加え、年1～2回の定期的なシステム改善提案を行うこと。

#### 5 導入支援・マニュアル提供要件

マニュアルの形式・品質	PDF、Web マニュアル、オンラインヘルプの形式で作成し、詳細な操作手順、管理者向け設定方法、トラブルシューティング、SLA および問い合わせ方法を網羅すること。
閲覧環境の整備	管理者および利用者がオンライン上でいつでも閲覧できる専用ポータルを提供すること。また、当該ポータルはパスワード保護等によるアクセス管理を行うこと。
更新頻度	システムのバージョンアップや機能追加に伴い、定期的にマニュアルのバージョン管理および内容の更新を行うこと。
トレーニングの提供	管理者・利用者向けの操作研修（実地トレーニング）を計画・実施するとともに、受講者がシステム自体の使い方を学習できる「オンデマンド教材による学習環境」をシステム内に整備すること。